



庄原自治振興区だより

第 181 号 令和 3 年 11 月 19 日 発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 18-8-401

TEL/FAX

(0824)72-3777



地域の賑わいづくりを求めて・・・

「花と緑があふれるまちづくり事業」をスタートしました！！

10 月～11 月 30 日までまちなかの街路沿いに、地域の児童生徒が心を込めて植えた「寄植え」300 プランターが、華やかに彩っています。ぜひご覧ください。！！



花のまち応援隊



庄原特別支援学校



庄原花のまち応援隊



庄原駅前フェスタ



庄原実業高校



庄原中学校



庄原小学校



永末小学校



庄原格致高校

本区では、昨年から庄原自治振興区・しょうばら花会議・庄原まちなか協議会・本町公衆衛生推進会・本町支部女性会・庄原商工会議所・しょうばら産学官連携推進機構の 7 団体と賛同する個人で結成した「庄原花のまち応援隊」により、地域の賑わいづくりに向けて「花と緑があふれるまちづくり事業」をスタートしました。

次年度から、6 月と 9 月の 2 回、しょうばら花会議の「オープンガーデン」の時期に合わせて、約 1 ヶ月間、地域の皆様の協力を頂き、庄原市の中心市街地(まちなか)に、季節の花の寄植えを飾り、内外の多くの皆様にご覧いただき「庄原の魅力」を発信していきます。



令和 3 年度 全国統一防火標語

「おうち時間 家族で点検 火の始末」



10 月役員会報告

(10 月 26 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 「庄原花のまち応援隊」事業の取り組みについて
 - ◆活動促進補助金・・・9/21 交付決定、プランター 300 基、プランターカバー初年度 150 基設置。
 - ◆設置期間・・・本年度 10/21～11/30、次年度から 6 月・9 月(植え替えて設置)。
- (2) 防災本部・自主防災組織の取り組みについて
 - ◆防災マップ作成・・・11/14(日) 10:00～川手上集会所を起点に川手 4 自治防災会で街歩き。
- (3) 庄原市議会「市民と語る会」の開催について
 - ◆開催日時・会場・・・11/15(月) 18:30 ～ ふれあいセンターコパリホール。



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.19



シリーズふるさと歴史文化散策 近世6

《時代劇を10倍楽しくする豆知識：番外編（狼地蔵 伝説）》

今回は、郷土史の範囲から若干外れますが、江戸時代シリーズの最後ですので、庄原地方の説話に登場する“オオカミ”について説明します。町制50周年誌『永江庄から庄原町へ』に、次のような記述があります。

《狼地蔵の由来》

幕末のころ、庄原と永末の境の山道で、庄原の節句市に来た子守が突然狼に襲われて、背負っていた子供は殺され、子守りは重傷をうけた。永末の住民たちは直ちに山狩りを行うて、その狼を退治したところ、その狼の霊か(あるいは配偶者か)夜な夜な遠吠えをして止めないので、一墓の地蔵尊を建立したところ、忽ち(たちまち)吠えなくなったと言われている。

人々は、これを“狼地蔵”又は“狼塚”とよんで、現在に残っています。

また、『伝説と民話』(文化新聞社)には「御陵(ごりょう)の峰」の項で「侍女が洗濯に出かけて帰る途中、葉の大きなカシワの陰にひそんでいた狼に襲われました。イザナミは大変心配して侍女が安心して洗濯に出かけられるよう、狼のひそむカシワをなくしてやりました」と、オオカミが登場します。古事記の世界だけではなく、現在でも比婆山には柏(かしわ)の木が少ないと言われています。

古事記では、イザナギとイザナミという男女二人の神様が日本を造ったとされています。そして、イザナミノミコトは最後に火の神「火之迦具土神(ひのかぐつちのかみ)」を産み、大やけどをして亡くなり、出雲国(島根県)と伯耆国(はきはきのくに鳥取県)の境、比婆山(1264m)の大岩付近に御陵を造り、葬られたと伝えられています。《日本のオオカミ》



狼地蔵(永末町)

日本本州・九州には、南方系の小型の本土オオカミ(ニホンオオカミ)、北海道には大型のエゾオオカミがいたが、ともに明治37(1904)年ごろに全滅したといわれる。原因は不明。

ニホンオオカミの標本は、国内に3体、海外に1体が存在する。

関東・東北の馬の産地では馬を襲うオオカミは敵とされましたが、農業を中心の地方では害獣のシカやイノシシを食べ、農作物を守ってくれる益獣としてきました。

『万葉集』には、オオカミを「大口の真神(まかみ)」と詠んだ歌もあり、“真神”はオオカミの別名です。大きな口をしている恐ろしい神という意味で、古くからオオカミを神的な存在として敬い、恐れていたことが判ります。オオカミの形態的特徴である大きな口は、日本ばかりでなくグリム童話『赤ずきんちゃん』でも同様に表現されています。さて、『狼地蔵伝説』の被害現場は、村と村(村と里)の境界です。

日本が西洋化する以前の村落では、境界地帯は最も不安定な危険な場所で、そこにはまだ成仏していない“すさぶる神様”や“恐ろしいもの(精霊・化物)”がいつも我物顔にふるまい、通りかかる人々を狙っている、こわい場所と思われていたのです。その恐ろしいものがオオカミという具体的な姿になって現れました。説話的存在ですので、実際の動物として考える必要はありません。

お地蔵様を設置したことにより、このありえないような話はさも本当らしくなり事実性を与えられました。オオカミは、明治43(1910)年発行の、柳田国男『遠野物語』にも13話登場します。「男の子が、伯父さんの家からの帰り道、オオカミの棲み処がある、村と村の境目で襲われ喰い殺される」話がありますが、庄原からはるか遠くの岩手県内陸部にも同じような話があることから、全国的な傾向であったと考えられます。狼地蔵は、パワースポットなのでしょうか？

次回は、近代「明治の出来事」を紹介します。お楽しみに……。

《文・構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会》



ニホンオオカミ(和歌山大学所蔵)



秋のクリーンキャンペーン

各自治会、秋のクリーンキャンペーン活動状況を写真で紹介いたします。



実業通り



下本町



川手沖



紅屋



東下



大黒上



川手下



西下



美湯ハイツ

新道上・下本町合同子ども会ラジオ体操

「合同子ども会」は、新道上・下本町合わせて現在5人と少数ではありますが毎年、「夏休み」の始めから終わりまで毎日、ラジオ体操を行っています。

子ども達が元気に楽しく体操をしているのを見て、近所の方々なども参加をしてくださり、朝は早いですが、とても賑やかで楽しい時間となりました。

毎日、同じ時間に起きて、同じ時間に家を出て、雨の日も(屋根付きの駐車場)元氣よく楽しく続けることが出来、規則正しい生活リズムもついたように思います。今年は、夏休みが終わっても子どもたちが、ラジオ体操を続けたいとのことで、引き続き、日曜日に行っています。しかし、秋も深まる中、朝の寒さには勝てず、全員そろって実施する日も日に日に少なくなり、10月下旬をもって一応、終わることとなりました。子どもたちの中には、少し寂しい気持ちもあるようですが、また暖かくなり再開する日があれば、その時は、地域の皆さんのより多くの参加を願っています。

子ども会 会長 森田 勇次



自治会活動紹介

⑧ 川手中自治会 自治会長 岡崎 寛



川手地区は、4区に分かれ(甲代)と呼ばれる中組地域があります。中組地域の主催行事に、毎年お盆休みを利用して開催する一大イベント『納涼祭』があります。

元々は、青年団と子供会のレクリエーション的な小さな行事でしたが、自治会主体の行事となった今では、看板や旗を立て、飾り提灯まで施した会場で、ビールや手作りのバーベキューなどetcを用意し、カラオケや豪華景品のビンゴゲームをしながら、地域の老いも若きも里帰り中の人達と一緒に盛り上がっています。しかし、残念な事にコロナにより2年間、開催する事が出来ませんでした。他に、とんど焼き、新年互礼会は勿論、地域のサロンや同好会も中止せざるを得ませんでした。“止まない雨はない”と言います。早くコロナが終息し自治会活動を通じて地域が活気に満ちみんなで盛り上がる日が来ることを心から願います。……(コロナに負けるな！)

子供将棋教室が、始まりました！！



令和 3 年度生涯学習事業の一環として、毎年恒例の“子供将棋教室(講師：亀山紀林さん)”を 10 月から開催しています。来年 2 月まで月 2 回の教室には、初心者と経験者を合わせて 21 名の小学生が参加し腕を磨いております。来年 2 月(最終回)の将棋大会は、毎回白熱した大会となっており、今からとても楽しみです。

王将



「がん検診へ行くのだ」キャンペーン

本 町 支 部 女 性 会
川手地区公衆衛生推進会
東三区 公衆衛生推進会
本 町 公衆衛生推進会

ショッピングセンタージョイフルに於いて、10 月 23 日(土)本町支部女性会は市保健医療課と連携しピンクリボン活動(乳がん検診啓蒙活動)を行いました。受診を希望される方は受付後、ジョイフルに駐車した検診車で受診されました。

同日、川手・東三区・本町の各地区公衆衛生推進会は、市環境政策課及び市保健医療課と連携し「がん検診へ行くのだ」キャンペーンを行いました。「がん」は今 2 人に 1 人になる身近な病気です。自覚症状がない今こそ、がん検診を受けるときです。



編 集 後 記

10 月初旬、街路樹の紅葉が始まる前に合同庁舎に出向いて、街路樹の剪定をお願いしたところ、県では各地区の剪定を 1 社に発注しており、詳細日程は把握していないとの事でしたが、庄原インター交差点から、庄原駅前までの剪定を早めにとお願いし、早速、綺麗にして頂きました。

庄原市の区分は例年に比べ、剪定が早く、紅葉・落葉が始まる前の 10 月初旬に作業を終えていました。例年、落ち葉清掃に追われていた地域の皆さんは、ホットされている事と思います。

岡田 記



12 月の振興区主催行事予定



14 日(火)	理事総務企画室合同会議	13:30～
21 日(火)	環境美化防犯パトロール (川手上・沖・中・下の各自治会長)	9:00～
21 日(火)	役 員 会	13:30～
毎週 1 回	青少協防犯パトロール	16:30～

